



みなと

みなと 58号 2019年6月1日
 兵庫県声の図書赤十字奉仕団
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5
 日本赤十字社兵庫県支部内
 (Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990
 代表者 足利教治
 編集者 神坂順子

2019年度 声の図書赤十字奉仕団総会

2019年度総会は、4月20日(土)10時より7階大会議室にて開催されました。 団員総数109名、出席者52名、委任状提出51名(受付担当 はあもにい)

司会は佐竹洋子さん(そよかぜ)、議長に海老名巖さん(青年)を指名、2018年度の活動報告、収支決算報告、監査報告と審議がなされ、承認を得ました。続いて2019年度の活動計画・予算(案)の承認を得、無事総会を終了しました。任期満了の役員、委員長 田辺依子さん、副委員長 福井恵子さん、会計監査 新田眞理子さんの3名は退任され、今年度新役員に、委員長 足利教治さん(はあもにい)、副委員長 長谷川洋子さん(ことばの花束)、会計監査 大林千秋さん(ともしび)が承認されました。

任期を終えられた、田辺依子さん、福井恵子さん、新田眞理子さん、2年間、担当のお役目、誠実に前向きに進めてくださり、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

2019年度本部役員

委員長	足利教治	(はあもにい)	新任
副委員長	志智公子	(青年)	留任
副委員長	長谷川洋子	(ことばの花束)	新任
会計	原 陽子	(神戸YWCA)	留任
会計監査	大林千秋	(ともしび)	新任
書記	神坂順子	(こすもす)	留任

☆よろしく願いいたします☆

総会終了後、懇親会が行われました。参加者たちは、テーブルに分かれて…支部から山本事業部長、永濱課長、岡本係長、に、各テーブルに入っただき、昼食を共に、和やかなひとときの中、声奉の今後に向け、活発な意見が出されました。最後に永濱課長の三線と歌で沖縄民謡を披露していただきました。今年の交流会のイベントは決まりです。支部の皆様、団員の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

前本部役員のひとつこと

『この二年間至らぬ思いで終わってしまいました。支えて下さった皆様に心から感謝しております。二年前までは「〇〇グループのメンバーの方」と、何となくよそよそしく感じていたお一人お一人と、同じ声奉のメンバーとして親しく接するようになれましたこと、声奉全体を総括して考えられるようになれたこと、年を重ねた私にとって新たな気付きです。二年間の貴重な体験を大切に、今後は声奉の一員として「和」を心に留めながら活動を続けたいと思っております。』

委員長 田辺依子（ともしび）

「知ることを楽しむ」私の性格は、パソコンに興味があっただけで入団し、日赤の声の図書奉仕団員として受け入れていただきました。でも朗読出来ない私は居るところではないなと思いながら、声奉の方々の魅力に「もしかしたら私も努力すれば近づけるかもしれない？」なんて淡い期待をして 10 年お世話になってしまいました。

とても素晴らしい環境で、素晴らしいメンバーの方々の出会いに感動・感謝しています。

副委員長としての2年間で振り返って、なんて無謀なことを引き受けていたのかと、反省しきりです。でもいろいろな場面に応じて、勉強や実体験させていただいたことは、老いの体に新鮮な命をいただいたと思っています。

恥ずかしい足跡を残しているかもしれませんが、「あんな人もいたわ」で片付けていただきますようお願いいたします。

皆様お元気で、声奉のますますの発展を心から祈っております。

ありがとうございました。

副委員長 福井恵子（あかりの会）

元気だけが取り柄だった私が、最後に体調を崩して他の役員の方々にご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。本部役員として講習会・研修会など色々な活動に参加させて頂きとても勉強になりました。

これからはあまり頑張りすぎないよう気を付けて声奉の活動に参加させて頂きたいと思っています。

2年間ありがとうございました。

会計監査 新田真理子（そよかぜ）



新本部役員のひとつこと

皆さん初めまして、新しく委員長に就任して戸惑いと不安の入り混じった心境です。私としては、リスナーさんと対等の立場で考え、有益な情報を送ることができるよう声奉の活動を努めたいと思います。どうぞ よろしくお願い致します。

委員長 足利教治（はあもにい）

何年もボランティアルームで活動させていただいていますがわかっていないことばかりです。2年間 無事に勤められるか不安も大きいですが 教えていただきながら 新しいことを覚えられることを感謝して楽しめるくらいの余裕が持てたらと願っております。よろしくお願いいたします。

副委員長 長谷川洋子（ことばの花束）」

このたび会計監査を担当させていただくことになりました。新しいことにチャレンジするという希望をもち、皆様のお力をいただきながら少しでもお役に立てるよう、前向きに努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

会計監査 大林千秋（ともしび）



日赤支部奉仕課職員のご挨拶

奉仕課長 永濱義也

血液センターから転任してまいりました永濱でございます。
血液事業では30年間ほぼ、献血をお願いする業務である渉外担当や広報マンとして仕事をさせていただきました。

この度、新任となりました奉仕課では、苦しんでいる人を救いたいという熱い思いを抱いておられる同志のみなさまと、しっかりとタッグを組んで、いつでも手を差し伸べることができるよう努めてまいります。

新しい元号とともに初心にかえり、ピカピカの1年生として貢献したいと思っております。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

奉仕課 主事 宮浦 胡実 (みやうら くるみ)

初めまして！

平成31年4月より新入社員として奉仕課に配属になりました宮浦胡実です。

出身は北海道で、大学入学を機に兵庫県に引っ越してきました。声の奉仕団さんの活動とても素敵だなと感じています。ぜひ皆さんの「声の図書」聞いてみようと思っています。機会があれば、私も活動に参加してみたいです。わからないことばかりでご迷惑をかけるかとは思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。



左から、井上主事 永濱課長 山本事業部長 宮浦主事 岡本係長

デイジー班



5月から元号が変わることを考慮して今年から年表記を元号から西暦に変更した「声のアルバム」ですが、制作に取り組む姿勢は以前と変わることなく各グループ真摯に活動して下さっていることと思います。デイジー班も毎月「声のアルバム」をリスナーにお届けする為の一連の作業に取り組んでいます。

デイジー班が奇数月の第一月曜日に行っている定例ミーティングでは、毎回ほとんど同じ議題を話し合っていますが、中でも

- ・毎月の「声のアルバム」の感想をモニター当番のグループから報告
- ・「声のアルバム」の各担当チーム（マザー制作、発送、受け入れ、機材）からの報告は、毎月リスナーにお届けする「声のアルバム」の質向上に欠かせないものだと確信しています。実際、少しずつですが音質、音量はかなり安定してきたと思います。

でも残念なことに、PHP編集の担当者から毎回と言っていいほど出るのが、各グループから提出される録音USBの不備についての不満です。

- ・音量、音質を整えるサウンドエンジン作業は必ず済ましておく
- ・決まったところまでをワンフレーズにする
- ・録音を始めますに続き、0.4秒の空白を本文の頭に付ける
- ・セクション番号は全角を使う
- ・セクションの見出しは割り振り表と一致させる

など、どれもチェック表の項目を確認すれば防げるはずの不備です。

提出USBの完成度が上がれば、それだけPHP編集者の負担が少なくなります。もう一度校正の大切さを再認識していただいて、提出USBの確認をよろしく願います。

石田むつみ（ともしび）



本文の前の0.4秒の空白は、フレーズの分割で行って確認してください。

(図は、PHP ○番〇〇〇〇のフレーズ)

点字班



こんにちは 声の図書のみなさま、いつもお世話になっております。平成から令和に変わった年、点字班も清々しく始動しております。今年も様々な事に丁寧に取り組みたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

例会は毎月第2火曜日の10時から3時までいたします。ひと月の活動報告と点字の学習そしてメッセージカードの作成や作業等を行います。

作業 1年間の新刊本の目録を6月にリスナーさんに発送
「声のアルバム」ラベルの点字印刷
交流会のプログラム
学校講習の資料作成（「おてがみ」という文を点字印刷）
お手紙の読み取り

点字の学習は「あらしの夜に」をします。マスあけや読み取りそして点字を書く練習をします。無理をせず少しずつ繰り返します。コツコツと積み上げていけば、スラスラと読めるようになると信じています。

最近の事です。「声のアルバム」の感想で「イタミノ キジガ ホシイ」とありました。「伊丹の記事」と訳してそれに関する録音を探しましたが「痛みの記事」ではないの？と教えて頂き、録音を探したところあったのです。改めて言葉の難しさに気づき誤訳をしないよう猛反省をいたしました。

学校講習の予定も入っています。2学期には子供たちに会えます。今年はどうな出会いがあるのでしょうか。また6月11日（火）に団員向け点字講習会を実施いたします。多くの方に点字を体験して頂きたいと思います。朗読とは違った発見がありますよ。みなさまと一緒に学習しませんか。点字班一同お待ちしております。

そして何かお気づきの点や要望がありましたらお知らせください。今年度も点字班をどうぞよろしく願いいたします。

門田真弓美（ことばの花束）



朗読・音訳を見直す会

録音図書製作マニュアル

もうすぐお手元に届く頃と思われます「兵庫県声の図書赤十字奉仕団 録音図書製作マニュアル 第3版」(下図の左側)は、令和元年(2019年)6月1日に発行となりました。

「第3版」は、「第2版」の内容の部分改定と添付資料の項目を増やし、パソコンでの録音や編集(デジタイズ図書製作)をより良く理解していただくために、「朗読・音訳を見直す会・単行図書検討会・デジタイズ班」で製作・編集いたしました。加わった添付資料は「各図書 USB メモリー提出時の留意点」「MyStudioPC の使い方」「SoundEngineFree による音声編集手順」「処理打ち合わせ表」の4項目です。取りまとめるにあたり、係わった仲間の熱意と工夫が詰まっていますので、ぜひ最後まで目を通してください。見やすくまた解りやすくなり、活用していただけると期待しています。

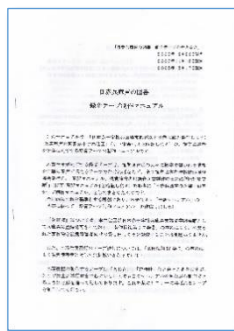
振り返れば17年前、2002年12月に発足した「制作テープを考える会」が初めての「日赤兵庫声の図書 録音テープ制作マニュアル」を作製し、発行しました(2003.2.22) 今の「録音図書製作マニュアル」の前身となります。当時は単行本をまちまちにテープ録音・編集していた為、声の図書製作のための手引書(マニュアル)が必要となり、吹き込み台帳の登録や分類等の手直しも加えて一冊のマニュアルに取りまとめました(下図の右側) あげぼの・こすもす・ことばの花束・青年・ともしび・はあもにい・神戸YWCAグループから選出の13名で活動しマニュアル作りに奮闘しました。また同時に朗読・音訳の研修や勉強会、そして日赤病院のロビーコンサートに声の図書有志がゲスト出演し、絵本の朗読や紙芝居をさせていただき、今では大変いい思い出となっています。

さて時代はテープから CD(デジタイズ図書)へと移り変わりましたが、リスナーの方々へ聴きやすい録音図書を提供しようという目標は変わりません。

朗読・音訳や録音・編集のレベルアップを目指し、これからも団員一丸となって活動していきましょう。 よろしく願いいたします。



録音図書製作マニュアル第3版



録音テープ制作マニュアル

三木京子(ことばの花束)

単行図書検討会



2018年度 単行図書貸し出しランキング表

2018.4.1～2019.3.31

順位	書名	著者名	貸し出し開始日	回数
1	あい永遠に在り	高田 郁	2018.05.24	14
2	花散らしの雨(みをつくし料理帖)	高田 郁	2018.04.12	13
3	終電の神様	阿川 大樹	2018.07.01	11
4	秋山久蔵御用控え 生き恥	藤井 邦夫	2018.06.28	10
5	下町ロケット	池井戸 潤	2012.08.09	9
	はなとゆめ	冲方 丁	2018.04.21	9
	原 節子の真実	石井 妙子	2018.01.25	9
	日の名残り	カズオ・イシグロ	2018.07.19	9
9	武士の紋章	池波 正太郎	2017.12.07	8
10	生きていくあなたへ 105歳どうしても遺したかった言葉	日野原 重明	2018.03.08	7
	風かおる	葉室 麟	2018.10.11	7
	すばらしい日々	よしもと ばなな	2017.10.05	7
	伴走者	浅生 鴨	2018.12.21	7

2018年度 単行図書の新刊登録 及び 貸し出し状況

新刊登録		貸し出し冊数	
リスナーからのリクエスト本	6冊	デージー図書	428冊
単行図書検討会推薦本	12冊	テープ図書	2冊
自薦本	1冊		430冊
プライベート本	1冊		(昨年 391冊)
計	20冊 (昨年 22冊)		

平成30年度の貸し出し状況をお知らせいたします。

毎年、着々と蔵書が増えていき、リスナーの方々に喜んで聴いていただけるのも皆様の朗読に対する熱意と努力のたまものだと思っております。

リスナーからの録音希望にもどんどん応えていきたいと思っておりますので、まだ、単行本の録音を経験されていない方々もぜひ、トライしてみてください。お待ちしております。

中原昌代 (ことばの花束)

そよかぜ

そよかぜグループは声奉の末っ子として2004年5月にスタートしました。同年10月に「かざぐるま」第1号を発行し、今年の5月号で第176号になりました。現在の活動メンバーは17名（男性2名、女性15名）。活動内容は、毎月発行の「かざぐるま」の他、「PHP」担当箇所の録音、デジタイズ作業への参加などです。

例会は、毎月第2金曜日。

「かざぐるま」は読売新聞より選んだ記事を7～8人で録音しています。記事を決めたり、音楽を入れたりする編集作業は、「枠」と呼ばれ、毎月交代制です。選ぶ記事は、マチタビ・エキタビシリーズや医療、サイエンス、スポーツ、料理、ファッションなど、多岐にわたるようにするのを心掛けています。メンバー全員が「枠」担当を順番にすることにより、PC操作や編集作業の技術が向上してきていると思っはいますが、ベテランさん半分、ちょっとおぼつかない人半分というところでしょうか（笑）。また、録音図書の製作も今まで二の足を踏みがちだったメンバーも取り組み始めています。

勉強会は毎月第3木曜日に実施。NHK・Eテレで活躍中の全盲のフリーアナウンサー、安田知博先生を講師にお迎えしてご指導頂いています。

そよかぜメンバーは全員、「読売音訳ボランティア養成講座」の受講経験者ですが、ご多分にもれず高齢化などの事情により、今は推薦があれば、新人さん大歓迎です。そよかぜグループは優しいメンバー揃いなので、皆で協力し合って楽しく、活動しています。

山田園代 （そよかぜ）



令和元年全国赤十字大会に参加して

5月22日（水）東京・明治神宮会館で開催された全国赤十字大会に参加させて頂きました。

令和元年の今年は奇しくも国際赤十字・赤新月社連盟創設100周年にあたります。

毎年、兵庫県支部の特殊奉仕団が輪番で出席していますが、記念すべき今年「声の図書奉仕団」に順番が巡って来ました。

当日、プロログで活動記録「赤十字この一年」が上映され、11時から下記次第で式典が催されました。

第一部○式典（11：00～11：45）

名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご臨場

- ◎国歌斉唱
- ◎社長あいさつ
- ◎有功章ご授与（代表13名）
- ◎社長表彰（2名）
- ◎厚生労働大臣祝辞
- ◎実践活動報告

- ・平成30年7月豪雨災害における倉敷市真備町での支援活動
- ・ユースボランティアとしてのこれまでとこれから

名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご退場

皇后陛下はご退場の折り、拍手でお見送りする会場に向かって舞台下手で振り返ってにこやかにお応え下さいました。



第二部○アトラクション（12：45～13：45）

- ・玉川アルプホルンクラブ／東京ようでる合唱団

アルプホルンはスイスを代表する民族楽器。その長さは地域によって多少の違いがありますが略3.4メートルあるそうです。

元々山の斜面に生え、根本が曲がったモミの木の形を活かして作られたそうですが、日本でこのアルプホルンを製作・演奏活動をしているのが玉川アルプホルンクラブです。

40名が各々アルプホルンを手に舞台いっぱいにならでの演奏は圧巻でした。舞台の両側に設置された大画面にスイスの山々や湖が映し出され臨場感溢れる清々しい音色が会場に響きました。

他にアコーディオンやカウベル演奏、伊藤啓子さん姉妹のデュオ等多彩なスイス音楽を楽しませて頂きました。

今回参加させて頂き、改めて今後も事情が許す限り微力ながら「声の図書」の一員であり続けたいと願っております。

田辺依子（ともしび）



香山良樹さん 2019.3.26

3月20日（リスナー意見交換会）は、たいへんありがとうございました。

思いつくままに言わせていただき、寛容な心で聴いてくださり、ありがとうございます。

これから、暖かくなり良い季節になります。

皆さま、楽しみましょう。

小林紀代さん 2019.4.2

寒かった冬も終わり、やっと春、桜満開の便りがきかれる季節になりました。

いつもCDお送りいただき、本当にありがとうございます。

中原真理子さん 2019.4.9

PHP3月号を聞かせていただきました。

談話室と東北レポートと松下幸之助のおもしろいやりどころは、良いことを言っていて、印象に残っています。今回、特別企画が無かったのが残念なので、できたら、していただきたいなと思います。期待しています。

達城あや子さん 2019.4.23

お世話になります。

先日、自分で初めてCDドライブからデイジーにバックアップすることに挑戦！初めてトライしたのが日赤声のアルバム。あとは。聴く操作にチャレンジするのが楽しみです。

香山良樹さん 2019.4.23

瀬戸内寂聴さんのお話、たいへん味わい深いものですね。95歳ともなれば、あるていど我儘も許されるのでしょうか。色んな人の人生訓なども取り上げていただくよう希望します。

遺伝子治療に関する話題は、たいへん興味あります。しかし、本当に実用化されるまでに、結構時間がかかりますね。たいへん興味あるニュースをありがとうございます。

平本信義さん 2019.5.9

多くのデイジー図書を聞かせていただき、まことにありがとうございます。

これからも多数の図書を作ってください。高校野球（高校野球で本当にあった心温まる物語）楽しく聴きました。

伊賀むつみさん 2019.3.28

防災デイジーの続きはあるかな？

視覚障がい者の囲碁に感動したね。

視覚障がい者の囲碁の雑誌はあるかな？

（大活字でお便りいただきました）

牧野まりえさん 2019.5.13

10日間の連休、スタッフの皆さま、それぞれに有意義にお過ごしになられたことでしょう。

さて、PHP4番目の記事を読んでくださったのに、リスナーとしては聞きづらい気がしました。聴き手を思い浮かべて読まれてはいかがでしょう？ よろしく願いいたします。

PHPは、内容がいつも盛りだくさんですね。今回、東北レポートがなくなり、とても残念に思います。又、してほしいものだと願っていますよ。期待しています。

花時計 プログラム

花時計 5月号 ともしび

1. イチローの時代(上)(中)(下)
2. 山下柚実著『年中行事を五感で味わう』から「端午の節句」
3. 野口勇著『命の種を未来に』より「固定種の野菜は生きた文化財」
4. ゴキブリは銀鉦山のカナリア？
5. 石田千著「箸もてば」より
6. ラ？メンとは何か？ 椎名誠
7. ウズラのずっちゃん

花時計 6月号 はあもにい

1. ワクワドキドキどんな人に会えるかな？
三線奏者 大江しょう吉さん
2. 旅行記
ウズベキスタンってどんな国？
3. お料理 プロフ
4. Marcy のミュージックカフェ
伝説のロックバンド クイーン
5. お便り



2019年度総会の様子

永濱課長の三線演奏

